



▲中央図書館前のシイの木のモニュメントを見学する参加者

平和の尊さを学ぶ

大刀洗空襲をたどるフィールドワーク
大刀洗空襲の戦跡をたどるフィールドワークが、3月1日に開催され、市内外より66人が参加しました。

これは朝倉市平和事業実行委員会が主催するもので、朝倉市の頓田の森や、筑前町のえん体壕など、市内外にある大刀洗飛行場に関連する戦跡をたどりました。参加者たちは実際の戦跡や、大刀洗平和記念館にある当時の資料を熱心に見学し、改めて平和について考えていました。

農業の未来を考える

第54回全国青年農業者会議

朝倉市4Hクラブの平田卓さんと森裕介さんが、第54回全国青年農業者会議で九州地区の代表として畜産部門のプロジェクト発表を行いました。全国青年農業者会議は、農業や農村生活環境の改善等を実践している青年農業者が成果を発表する大会です。

平田さんと森さんは全国農業青年クラブ連絡協議会会長賞を受賞。平田さんは「今までで一番うまく発表できた。他県の人の話をきいて若い人の力はすごいと思った」と話しました。



▲左から森田市長、森さん、平田さん

達成感と新たな決意
朝倉市消防団入退団式

4月5日、ピーボート甘木・大ホールで、朝倉市消防団入退団式が行われました。今年、155人が退団、109人の団員が新たに入団しました。また、38人が再び団員として復帰しました。

やり遂げたという充実感で清々しい笑顔の退団者と、それを称えつつ見送る団員たち。そして新たな使命感と緊張で引き締まった表情の新入団員は、これからの消防団活動への決意を固めました。



▲団長感謝状を受け取る退団者

火災消火活動の充実を

小型動力ポンプ付軽積載車配備式

3月23日、上秋月コミュニティセンターで小型動力ポンプ付軽積載車配備式が行われました。

これは、水源地域対策特別措置法に基づく振興計画に伴い、小型動力ポンプ付軽積載車1台を配備することになったものです。

朝倉市消防団第19分団長山崎大作さんは「今後も一致団結し消防団の使命達成のため更なる努力をしていきます」と語りました。



▲配備された小型動力ポンプ付軽積載車

過去の写真に思いを馳せる

旧日田街道比良松の懐かしい写真展

3月14日・15日、旧朝倉町比良松地区の懐かしい写真展が舒翠館(比良松公民館)で開催されました。4回目の開催となった今回は、明治から昭和前期の写真に加え、故田中富美男氏撮影の昭和30年代の未公開写真を多数展示。さらに、特別企画として教育・消防・古賀大庄屋の記録などを取りあげ、現物展示(戦前の教科書、古い消防器具)も行われました。

訪れた人たちは昔の懐かしい写真を見ながら、昔話に花を咲かせていました。



▲館内からは昔を懐かしむ声が多く聞こえてきました

泥つきは良好

杷木穂坂 泥打ち祭り

3月22日、杷木穂坂の阿蘇神社で「泥打ち祭り」が行われました。初めに氏子の中から「しり引き」で代宮司が選ばれ、拜殿でお酒が振る舞われた後、数百人離れた道祖神へ向かいました。道中には泥土が用意され、子どもたちが泥のつぶてを投げつけます。白装束は見守る間に泥にまみれ酒もまわり、代宮司は両脇を抱えられながら一歩一歩足を進めています。代宮司の体に泥が多くつくほどその年は豊作であるといわれており、今年もしっかりと泥が身につけていました。



▲フラフラになりながらも道祖神へ向かう代宮司